

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 倉敷化工株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 712-8555 岡山県倉敷市連島町矢柄四の町4630
----	-------------------------	----	---

本票作成	部署名： 監査室 ISO事務局
------	-----------------

主たる業種	分類コード	19	業種名： ゴム製品製造業
-------	-------	----	--------------

事業の概要	自動車用ゴム部品、産業用防振・防音・緩衝機器の製造販売 従業員750名
-------	-------------------------------------

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	本社工場	岡山県倉敷市連島町矢柄四の町4630

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	--

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 24 年度)	(平成 25)年度排出量	目標年度(平成 29 年度)
	12,802 t CO ₂	13,749 t CO ₂	12,802 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 25)年度排出量
	①	本社工場	13,749 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 25 年度 ～ 平成 29 年度 (5 箇年度)		
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(25) 年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 9.6 %	%	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 ゴム製造業なので、製造工程に原材料として使用する練りゴム使用量を用いた。	原単位当たり排出量		
		基準年度	(25) 年度	目標年度
		4.071 t CO ₂ /(t)	4.460 t CO ₂ /(t)	3.867 t CO ₂ /(t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 25 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

練りゴムの使用量(エネルギーの使用量と密接な関係を持つ値)とは直接関係のない設備(樹脂製品の組み立てライン)の新設及びそれに伴う空調設備新設の為、使用電力が増加して、結果的に前年度に比べ原単位の改善ができませんでした。

【推進体制】

- ・省エネ法に基づくエネルギー統括者を中心としたエネルギー監視体制のもと、手順書どおり進めて行く。
- ・ISO14001に基づき、社長をトップとした環境管理体制の下、全社目的目標に省エネルギーを前面に押し出し、環境改善を推進して行く。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
本社工場	<p>(2013年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴム射出成形機を保温対策した。 ・金型ヒーター投入時間の短縮を行った。 ・照明のLED化を行った。 ・全般照明の決め細やかな管理による節電を行った。 ・生産性向上活動により、1個のもの作りの時間短縮を行って、省エネを行った。 ・省エネ設計を反映した新規設備を導入した。 ・大規模ソーラーパネルを導入した。 <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貫流式ボイラー（A重油使用）から、LNG使用ボイラーに更新する。 ・設備、試験機モーターのインバータ化を実施する。 ・裸蒸気配管・バルブへの保温対策を進めてゆく。 ・省エネ設計を反映した新規設備の導入。 ・各動力トランスの更新

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--